

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画（その2）(重点計画)(防災・安全)、泉佐野市下水道整備計画（その2）(防災・安全)										
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)	交付対象	泉佐野市								
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道整備を計画的に行い、市民にとって災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。</li> <li>・下水道の機能確保と、道路陥没や地震時等の二次災害を未然に防止するため、下水道施設の計画的な改築、長寿命化を推進する。</li> </ul>										
番号	計画の成果目標（定量的指標）										
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)							
1	・下水道による都市浸水対策の達成率を15.3%から15.5%に増加させる。 都市浸水対策達成率(%) =整備済み面積(ha) / 整備対象全体面積(ha) ※整備計画対象全体面積: 2,785ha(下水道全体計画面積)	15.30%	15.40%	15.50%	計画						
2	・中央ポンプ場の長寿命化対策により、既設ポンプ設備6台の改築実施率を0%から66.7%に増加させる。 泉佐野市中央ポンプ場(ポンプ設備台数:6台)の老朽化している設備の改築実施率(%) =改築済みポンプ設備数(施設) / 改築が必要なポンプ設備数(施設)	0.00%	16.70%	66.70%	計画						
3	・下水道施設に関するストックマネジメント計画策定率を、0%から100%に向上させる。 スtockマネジメント計画策定率(%) =策定済みストックマネジメント計画数(計画) / 策定すべきストックマネジメント計画数(計画)	0.00%	0.00%	100.00%	計画						
全体事業費	計画 実績	合計 (A+B+C)	1534百万円 1315百万円	A	1534百万円 1315百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	- -

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
泉佐野市において策定した「事後評価方針」に基づき、令和2年12月22日の上下水道局内審議において定量的指標の達成状況、事業効果の発現状況などを検証するとともに、令和3年1月8日～1月29日までの間、パブリックコメントを実施し、第三者の意見を広く求めることにより、今後の整備方針を検討することとした。	令和3年1月 公表の方法 泉佐野市のホームページ上で公表	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
A07-001	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	管渠(雨水)	新設	湾岸中部処理区 雨水管渠整備事業	雨水管φ=700～500mm、L=321m、A=2.2ha	泉佐野市	■	■	■	■	■	67.0	計画
A07-002	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	ポンプ場	改築	湾岸中部処理区 中央ポンプ場長寿命化対策	雨水ポンプ設備 N=4台	泉佐野市	■	■	■	■	■	1,287.0	計画
A07-004	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	ポンプ場	-	湾岸中部処理区 中央ポンプ場耐震化対策	雨水ポンプ場(土木・建築・設備)の耐震化	泉佐野市	■	■	■	■	■	118.0	計画
A07-003	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	ポンプ場	改築	湾岸中部処理区 中央ポンプ場第2期長寿命化対策	ストックマネジメント計画策定	泉佐野市	■	■	■	■	■	62.0	計画
											合計	1,534.0	計画				
											合計	1,315.0	実施				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
											合計	-	-				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
											合計	-	-				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道による都市浸水対策達成率を15.3%(H26末)から15.7%(H31末)に増加させたことにより、浸水被害の軽減に繋がり、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することができた。</li> <li>・中央ポンプ場の長寿命化・耐震化計画に基づき、老朽化し改築更新が必要な6台のポンプ設備について計画どおり4台の改築更新工事を行うとともに、躯体について盛土部の軽量地盤化による積載荷重の低減や一部耐震壁への改造等、現段階で対応可能な耐震対策工事を行ったことにより、浸水対策機能の維持と地震時等の災害時における機能の確保を図ることができた。</li> <li>・国土交通省の方針に基づき、計画どおりストックマネジメント計画を策定したことにより、現時点における雨水ポンプ場、マンホールポンプ施設、管路施設について、点検・調査から修繕・改築に至るまでの一連のプロセスを計画的に実施することが可能となった。</li> </ul>															
II 定量的指標の達成状況	指標① 都市浸水対策達成率	最終目標値	15.50%	目標値と実績値に差が出た要因	本整備計画対象事業のほか、早期の浸水対策に必要な事業として市単独事業など、他の整備すべき路線整備を進めたことにより、目標値を上回る整備となった。 【目標値の算出根拠】 430.40ha ÷ 2,785ha × 100 = 15.5% 【実績値の算出根拠】 436.93ha ÷ 2,785ha × 100 = 15.7%											
		最終実績値	15.70%													
	指標② 中央ポンプ場の老朽化している設備の改築実施率	最終目標値	66.70%	目標値と実績値に差が出た要因		計画どおり改築更新事業を実施 【目標値の算出根拠】 4台 ÷ 6台 × 100 = 66.7% 【実績値の算出根拠】 4台 ÷ 6台 × 100 = 66.7%										
		最終実績値	66.70%													
	指標③ ストックマネジメント計画策定率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因			計画どおりストックマネジメント計画策定事業を実施 【目標値の算出根拠】 1計画 ÷ 1計画 × 100 = 100.0% 【実績値の算出根拠】 1計画 ÷ 1計画 × 100 = 100.0%									
		最終実績値	100.0%													

3. 特記事項(今後の方針等)

平成27年度から平成31年度までの5年間の社会資本総合整備計画に基づく下水道事業を実施し、定量的指標について全ての目標を達成することができた。 今後は、平成31年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、引続き中央ポンプ場の長寿命化対策・耐震化対策などの改築更新事業を実施し施設機能の安定的確保に努めるとともに、雨水浸水対策を効率的に進めることにより、災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいくこととする。
--